

宮崎縣

百九十二

三納村農事組合倉庫

沿革

由來當地方ニ於テハ大字平郡ヲ中心トシ之ニ接續セル二三隣村ノ一部及重立テタル農家等相計リ此ノ地ニ於テ俵米ノ共同販賣ヲ爲シ相當ノ成績ヲ擧ケ來リシカ更ニ之カ効果ヲ大ナラシメ猶農事改良上ニモ裨益スル所アラシメトシ明治四十四年九月宮ノ下農事組合ヲ組織シ農産物ノ共同販賣ヲ行フノ外農事ノ改善進歩ニ力ヲ致セリ

當時同地方カ米質ノ向上及二毛作ノ發達並ニ堆肥倉建設等ノ改良事業ニ於テ郡内常ニ優良ノ實績ヲ收メ他ニ範ヲ示スニ至リタルハ本組合ニ負フ所尠少ナラサリシナリ

組合設立後共同販賣ハ益々好潮ニ進捗シタリシモ適當ノ倉庫ナカリシ爲個人所有ノ土藏ヲ借入レ使用スル等多大ノ不利ト不便トヲ忍ハサルヘカラサルノ狀況ニ遭遇セリ

偶明治四十五年五月本縣農業倉庫資金貸付規則發布セララルルヤ同年九月村會ニ諮リテ起債ヲ決議シ縣

ヨリ無利息十箇年賦ヲ以テ金二千五百圓ヲ借入レ尙同額ノ寄附ヲ募集シテ直ニ工ヲ起シ同年十一月宮ノ下本庫ノ落成ヲ見翌年四月札ノ下支庫竣工ス而シテ工事落成ト共ニ本庫ヲ宮ノ下農事組合ニ支庫ヲ札ノ下農業倉庫組合ニ貸付シテ事業ヲ經營セシムルニ至レリ

倉庫ノ貸付ヲ受ケタル宮ノ下農事組合ハ一口十圓ノモノ二百九十口ヲ募リ字笠原及都於郡村大字鹿野田字吉村ノ二箇所ニ關係部落ヨリ總工費半額ノ寄附ヲ受ケ支庫ヲ建設シ殘額二千圓ヲ基本金トシテ積立テ其ノ利息ヲ以テ倉庫借入料二百圓ノ支出ニ充ツルコトトセリ

本倉庫ニ於テ始メ共同販賣ヲ實施シタルハ大正元年十一月十五日ニシテ爾後十月ヨリ翌年三月迄ハ毎月三回五日ニ四月ヨリ九月迄ハ毎月十日、二十五日ノ二回ヲ販賣日ト定メ必要アル場合ハ臨時實施スルコトトシ尙入庫者ヲシテ金融ノ便ヲ得セシメンカ爲宮ノ下株武會社ニ交渉シ入庫證ヲ擔保トシテ資金ヲ貸付セシムルコトトシタルモ一般金融ノ逼迫ニ伴ヒ當業者ヲ満足セシメ能ハサリシ場合多カリシ爲多數ノ組合員中ニハ止ムヲ得ス不利ヲ忍ンテ個々販賣スルヲ餘義ナクセラルルモノアルヲ遺憾トシ種々劃策スル所アリタリ然ルニ縣ハ農業倉庫利用上融通資金ノ必要ヲ認メ興業銀行ニ交渉シ日州銀行代理貸ノ方法ニ依リ資金融通ノ途ヲ得タルノ時アリシヲ以テ大正四年十一月十五日規約ヲ改メ宮ノ下農産物共同販賣組合ト改稱シ同年十二月日州銀行ヨリ貸越契約ニ依リ金二千圓ヲ借入レ入庫證ヲ

擔保トシテ組合員ニ融通スルコトセルヲ以テ組合員ハ尠カラサル恩典ニ浴シ組合ノ事業俄ニ舉リ大正五年九月以來本倉庫ニ於テハ俵米ノ輸出検査ヲ施行スルノ運ニ進ミ更ニ共同販賣ハ一層確實ニ實行セラルルノ盛況ヲ示スニ至レリ

倉庫ノ位置、構造ノ概要、棟敷、收容能力

●位置 ●本庫兒湯郡三納村大字平郡字別府代五百四十番地、本庫ノ所在地タル宮ノ下ハ三納村大字平郡ノ東南端ニ位スル一小邑ニシテ三納、佐土原間及中央縣道ノ交叉點ニ當リ縣營鐵道ノ終點妻停車場ヨリ西南ニ距ル三十町交通運輸頗ル便利ナリ

支庫 兒湯郡三納村大字平郡字笠原

支庫 同 郡都於郡村大字鹿野田字吉村

●構造 ●本支庫共ニ土藏平屋瓦葺ニシテ本庫ハ之ヲ四室ニ區分シ各室ニ出入口ト窓トヲ設ケ出入口ニハ鐵板ノ引戸ヲ設ケ窓ハ開キ戸ト數條ノ鐵棒ニ依リテ外界ノ濕氣雨露盜難ヲ防止ス支庫ハ建坪小ナルト室ヲ區分セサル外本庫ニ同シ
本庫及支庫等ノ建坪數左ノ如シ

本 庫(借入) 五七、七五^坪 坪數 四二、〇〇^坪 附屬庇 坪數 一五、七五^坪

第一支庫(組合有)	一四、〇〇	坪數	一〇、〇〇	附屬庇	坪數	四、〇〇
第二支庫(同)	一四、〇〇	坪數	一〇、〇〇	附屬庇	坪數	四、〇〇
事務所(借入)	九、四一	坪數	八、七五	附屬厠庇	坪數	〇、六六
收容能力	本庫 五千俵	第一支庫	千俵	第二支庫	千俵	

保管ノ方法

共同販賣米ハ縣ノ生産検査等級ニ區分シ單ニ保管ニ留ムルモノハ依頼者毎ニ保管ス尙本庫ニ於テ等級ニ隨ヒ各別室ニ保管ス

證券發行ノ狀況

本組合ニ於テハ入庫證ヲ發行シテ領收證ニ替ヘ入庫證ヲ擔保トシテ時價十分ノ八迄日歩五錢ノ割合ヲ以テ六十日以内ノ融通ヲナス

寄託米ノ検査ト縣ノ検査トノ關係

別ニ組合ノ検査ヲ行ハス縣ノ生産検査ノ等級ニ依リ入庫ス

寄託米販賣ノ狀況

寄託米ハ全部競争入札ニ付ス而シテ本組合販賣定例日ハ既ニ米商人等ノ熟知スル所ナルヲ以テ特別ノ

場合及臨時販賣日ノ外ハ通知狀ヲ發スルコトナシ
 販賣米ハ組合員、評定員、組合長立會ノ上豫定價格ヲ定メ豫定價格ニ達セサルトキハ再入札ヲナシ尙
 豫定價格ニ達セサル場合ハ隨意契約ノ法ニ依リ販賣ス若シ隨意契約ヲナス場合ニ於テ價格不相當ト認
 メタル場合若ハ必要ニ應シ阪神地方へ直輸出ヲナシ以テ價格ノ昂上ヲ期ス

既往三箇年ノ事業成績
 年度別共同販賣成績

年次種別	回数	俵數	地相場	販賣相場	利益
大正二年	二〇七、五七六	四五、八七二、二六〇	四八、六九六、一六四	二、八二三、九〇四	
同三年	二七六、五五九	二七、七〇一、二二〇	二九、九〇〇、三〇〇	二、一九九、〇八〇	
同四年	二三五、四六一	二四、二五六、七一八	二五、四六六、一二六	一、二〇九、四〇八	

月別融通資金貸出成績

月別	口數	金額	摘要
大正四年十二月	一〇	一七、二二〇	

大正五年一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
二四	一四	七	五	七	四	三九	六二	四五	四八	四九	四二
八三三八〇	三二一七〇	四〇二〇〇	一九九〇〇	三八一〇〇	五五〇〇〇	九七二五〇	八四二五〇	七四〇二七〇	五一三二四五	六二七八七〇	一、四〇三〇〇
十二月廿五日迄分											

備考 一 貸出ハ概ネ小口ニシテ一口五拾圓以上ノモノ尠シ
 二 貸付金ハ大部分次回ノ共同販賣代金ヲ以テ回收ス

三 本表ハ十二月二十五日現在トス
附帶事業成績

俵米品評會

大正二年度一回舉行出品點數二百俵縣ヨリノ特別賞與金拾圓大正三年度ヨリ村農會主催ニテ毎年本倉庫ニ於テ俵米品評會ヲ開催スルコトナレリ

部落講話

毎年一回關係各部落ニ於テ農事上ノ講話會ヲ開催ス其ノ結果良好ナリ

最近二箇年ノ收支決算

科目	大正三年		同四年	
	入	出	入	出
販賣手数料	二六二八四〇		二二五八六〇	
利息	二四四〇〇〇		二五九六八〇	
雜收入	三四九〇〇		四九〇〇	
線越金	一〇五六三〇		四五六三五	

六四七三七〇

五二六〇七五

支出

項目	大正三年		同四年	
	入	出	入	出
組合長報酬	二四〇〇		二四六六〇	
事務員給	一二六〇〇〇		九〇一〇〇	
定番給	三六〇〇〇			
旅費	一〇九〇〇		八四〇〇	
評定員給	三一二〇〇		二九二〇〇	
會議費	四一五〇〇		四九〇〇〇	
備人料	一八四五〇		七四五〇	
通信費	一五三〇		一〇六〇	
備品費	六一二〇			
消耗品費	三四三二五		三九八〇九	
敷地料	一三五六〇		一六八六六	

一口金拾圓ノ一時拂込ニテ一人五口以内トシ株數ハ二百九十四トス出資者ニ對シテハ持分券ヲ交付ス

第九條 持分ハ組合内ニ限リ讓與スルコトヲ得此場合ニ於テハ双方連署ヲ以テ組合長ニ名義ノ書替ヲ請求スヘシ

第十條 組合員ハ其出資額ニ應ジ組合財産ニ對スル權利ヲ有ス持分ノ讓受人ハ其持分ニ對シ讓渡人ノ權利ヲ繼承ス

第三章 經費及積立金

第十一條 本組合ノ經費ハ販賣手数料及庫料及資本金收入利息其他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第十二條 收入金ヨリ經費ヲ差引キ殘額アルトキハ之ヲ積立金トシテ積立ツルモノトス

第十三條 積立金ハ之ヲ日州銀行ニ預ケ入ルルモノトス

第十四條 組合ニ損失ヲ生シタルトキハ積立金ヲ以テ之ヲ填補シ尙不足アルトキハ組合員ニ於テ分擔スルモノトス

但分擔率ハ總會ノ決議ニヨル

第四章 組合ノ機關

第十五條 本組合ニ組合長一名理事八名監事五名評定員四名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

理事監事評定員ハ總會ニ於テ持分二株以上所有者ノ中ヨリ之ヲ選任ス

第十六條 組合長ハ組合ヲ代表シ事務ヲ總理シ理事ハ組合長ヲ補佐シ資金使用法並ニ組合經費豫決算等ヲ決議ス

監事ハ會計及事務執行ノ狀況ヲ監査ス評定員ハ共同販賣價格ヲ販賣者ト共ニ評定ス

第十七條 役員ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

補缺選舉ニヨリ就任シタル役員ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第十八條 役員ニ缺員ヲ生シタルトキハ總會ニ於テ補缺選舉ヲナスモノトス

但シ各定員三分ノ一迄ノ缺員ノ場合ハ次期總會迄延期ス

第十九條 理事會ハ組合長之ヲ招集シ半數以上集會ノ時開會ス議事ハ多數決トシ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

但シ議長ハ組合長之ニ當リ組合長故障アル場合ハ年長理事之ニ代ル

第二十條 理事三名以上請求アルトキハ組合長ハ五日以内ニ理事會ヲ招集スヘシ

第二十一條 本組合ニ事務員一名ヲ置キ組合長之ヲ推薦シ理事會ノ認定ヲ受クヘシ

第二十二條 事務員ハ組合長ノ命ヲ受ケ庶務會計ニ従事ス

第二十三條 役員報酬ハ左ノ範圍内ニ於テ理事會之ヲ定ム

一 組合長月額 二十圓以内

一 役員報酬年額 三圓以内

一 事務員月額 十五圓以内

第二十四條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス通常總會ハ毎年四月之ヲ開キ臨時總會ハ必要ニ應

シ之ヲ開ク但召集前理事ニ諮問スヘシ

第二十五條 總會ハ組合長之ヲ召集ス

但シ組合員三分ノ一以上ノ請求アル場合ハ之ヲ召集ス

第二十六條 總會ノ議事ハ組合長議長トナリ組合長故障アルトキハ年長理事之ニ當リ出席組合員過半

數ヲ以テ決議シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ定ム

第二十七條 總會ニ於テ議決スヘキ事項左ノ如シ

本組合ノ組織及定款變更

其他重要事項

第二十八條 總會ニ於ケル建議又ハ動議ハ五名以上ノ賛成アルトキハ之ヲ議題トナスモノトス

第二十九條 會議録ハ理事之ヲ作り議長及監事二名以上之ニ署名スルモノトス

第三十條 本組規則ハ組合株數ノ半數以上ノ同意ヲ得ルニ非サレハ變更スルコトヲ得ス

第五章 事業ノ執行

第三十一條 本組合ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第三十二條 共同販賣品ヲ組合ニ於テ共同販賣ニ附シ其代金ハ品質等級ニ應シ其都度計算シテ權利者

ニ支拂フモノトス

第三十三條 入庫者ニ對シテハ入庫證ヲ交付ス

第三十四條 共同販賣米ハ集合俵裝ヲナス

第三十五條 品質不良ト認ムルトキハ入庫ヲ拒絕スルコトアルヘシ

第三十六條 共同販賣ノ際ハ販賣者ハ組合長評定員ト販賣價格ヲ評定スルモノトス但シ評定員ニ一任

スルモノハ此限ニ非ス

第三十七條 共同販賣手数料左ノ如シ

一、米一俵ニ付四錢

二、雜穀一俵ニ付貳錢

第三十八條 入庫米ノ入庫料左ノ如シ

一俵ニ付壹箇月金壹錢

但シ共同販賣ノ目的ヲ以テ入庫シタルモノハ一箇月未滿ハ徵收セス

第二十九條 共同販賣者融通金ノ請求ヲナシタルトキハ組合長ハ其數量品質等級ニ依リ時價ヲ調査シ

其價格十分ノ八以内ニ於テ融通スヘキ金額ヲ定ム

第四十條 融通金ノ償還ハ入庫品販賣ノ上販賣代金ヨリ差引計算ヲナスモノトス

第四十一條 組合長融通ノ承諾ヲナシタルトキハ入庫品ニ對スル入庫證ヲ擔保トシテ提供セシムルヲ

要ス

第四十二條 組合ニ於テ起債ヲナサントスルトキハ總會ノ決議ニヨルモノトス

第四十三條 組合ハ品種改良乾燥調製ノ完全ヲ期スル爲メ總會ノ決議ニヨリ品種ヲ限定シ乾燥調製ノ

方法ヲ定ムルモノトス

第四十四條 本組合ノ事業執行ニ關スル細則ハ理事會ニ於テ之ヲ定ム

第四十五條 入庫品ノ損害ニ對シテハ鼠害雨害等ノ場合ハ組合ノ負擔トシ盜難紛失等ノ場合ハ組合長ノ負擔トス

但シ特別ノ事情アル時ハ此限ニアラス

附 則

第四十六條 本組合ハ元宮ノ下農事組合ヲ大正四年十一月十五日宮ノ下農產物共同販賣組合ト改稱シ

元農事組合ニ關スル一切ノ權利義務ヲ繼承ス

第四十七條 本組合規則ハ決定ノ日ヨリ施行シ元宮ノ下農事組設定款ハ同時ニ削減ス

宮ノ下農產物共同販賣組業務規程

第一條 本組合ノ業務執行ハ別ニ定ムルモノノ外本規程ニ依ル

第二條 共同販賣ハ左ノ期日ニ之ヲ行フ

自十月 每月五日 十五日 二十五日ノ三回

自翌年三月 每月十日 二十五日ノ二回

第三條 當倉庫ニ入庫スヘキ米ハ生産検査済ノモノニ限ル但シ生産検査済ノモノト雖包裝調製品質劣惡ニシテ聲價ヲ落スノ虞アルモノハ入庫ヲ拒絕スルコトアルヘシ

第四條 貸付金利率ハ百圓ニ付日歩五錢ノ割トシ貸出當日ヨリ拂戻ノ日マテ計算徴收ス

第五條 貸付期限ハ六十日ヲ限度トス

但シ時價變動ノ爲メ貸付期限内ニ於テ擔保品ノ價格貸付金ノ元利ニ不足ヲ生メル虞アリト認ムルト

キハ組合長ハ借受人ニ對シ擔保ヲ増加スルカ然ラサレハ十日以内ニ貸金ヲ償還スヘキ旨ヲ通知ス

第六條 前條ノ擔保ヲ増加セシ且ツ指定期間内又ハ定期々限ニ至ルモ償還ヲ怠ル場合ハ擔保品ヲ次會

ノ共同販賣ニ付シテ貸付金元利及手数料ヲ控除シ尙剩餘アルトキハ之ヲ本人ニ交付スルモノトス

販賣代金ニシテ貸付金元利及手数料ニ不足ヲ生シタルトキハ借受人ヨリ之ヲ徴收シ徴收不能ノ場合

ハ組合長ノ責任負擔トス

第七條 融通資金ハ組合長ニ於テ應急ニ必要ナル最少限度ノ金額ヲ保管スルモノトス

農業倉庫事例 終

大正六年十二月五日印刷

大正六年十二月十日發行

農商務省農務局編纂

東京市赤坂區溜池町一番地

發行者 帝國農會

代表者 上領浦次

東京市京橋區南水谷町七番地

印刷者 山村郁策

東京市京橋區南水谷町七番地

印刷所 日進舍

326
294

終